

# 第35回鬼貫顕彰俳句 小学校・中学校・高等学校の部 俳句募集

おにつらくんしようはいく

江戸時代、伊丹は俳句作りが大変盛んで多くの俳人を生み出しました。なかでも鬼貫は、芭蕉とならぶ俳人としてよく知られています。また、鬼貫はによつぱりと秋の空なる富士の山【晴れわたる秋空に、早くも山頂に雪を積もらせた富士山がによつぱりと聳えているよ】に行水の捨てどころなき虫の声【水浴びしたあの水を捨てるところがないくらい、庭いっぱいに虫が鳴いているよ】といった親しみやすい句をたくさん残しています。

その鬼貫を顕彰し、世界で一番短い詩として海外でも注目されている俳句に挑戦していただこうと皆さんの俳句を募集します。  
左の応募用紙またはハガキで応募してください。



おにつらくん

一、応募できる人 高校生

二、応募方法

左の応募用紙で応募してください。一枚に一句とし、一人何句でも可。

ハガキでの応募は、俳句・学校名・学年・組・氏名・氏名のふりがな・住所

電話番号を明記してください。(連絡が必要な場合があります)

※応募作品の訂正・返却には応じません。

※応募作品の著作権及びこれから派生するすべての権利は主催者に帰属します。

三、応募先

〒664-0895 伊丹市宮ノ前2丁目5番20号  
市立伊丹ミュージアム TEL 072-772-5959

四、締め切り

6月4日(水)

五、選者の先生

俳人、柿衛文庫理事長の坪内稔典ほか

六、賞

鬼貫賞・教育長賞・佳作・入選

七、発表

入賞者は学校を通じて(個人でご応募の場合は個別に)お知らせします。

表彰式は、8月15日(金)に行われます。

[おうぼ用紙]

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

キリトリ 線

学校名	俳 句
年	
組	
氏 名	ふりがな

- ★俳句は、できるだけ五音・七音・五音の十七音で作ってみましょう。
- ★俳句のなかに、季語(季節をあらわす言葉)を入れてみましょう。